

平成19年度に実施された事業の結果報告及び今後の方向性(概要)

※本ページは各事務事業の概要紹介と19年度の報告を目的としています。評価の詳細については次ページをご覧ください。

事業名	ひばり児童館放課後児童健全育成事業(生活クラブ)	所管	市民経済部 ひばり児童館
			TEL 2926-8669

事業の目的 (何の為に 行うか)	保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後や長期学校休業日等に所沢市立児童館を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図ることを目的とする。
------------------------	---

対象 (誰を、何を 対象としてい るか)	生活クラブ入会申込書提出児童数(1年生～6年生)	対象とした数	39
		実際に 利用した数	24

活動の内容	(何を したか)	1)入会希望児童の保護者より入会申込書を受け付ける。2)入会基準に沿って審査し、入会児童を決定する 3)定員24名、活動内容＝生活指導、昼食会、お別れ会、おやつを毎日実施、保護者会を年2回実施する。 4)入会手続き事務＝所沢市児童館生活クラブ事業運営基準によって行う。							
活動実績	項目名	開館日数	294	項目名	出席者数	5280	項目名	入会者数	100
			----- 単位 日			----- 単位 人			----- 単位 %

経費 (どれだけか かったか)	当初予算額(千円)	決算額(千円)	事業費合計(千円) ※人件費・公債費を含む	市民一人当たり単価(円)
	4,538	3,779	3,779	11.1

成果 (結果として どうなった か)	成果指標名	説明 (計算方法等)	目標値	実績	達成率
	平均出席者数	年間出席者数/開館日数	17	17.9	105.2
			----- 単位	----- 単位	----- 単位 %

今後の 方向性 (所管の意 見)	総合 評価	* 事業の継続 ⇒ * 拡充 縮小 統合 改善・効率化 改善余地なし その他〔 〕				
		終了	⇒	事業完了	終了	休止
	予算	* 現状どおり	増額	減額	終了	

今後の 方向性 (二次評価の 意見)	二次評価実施の有無 有り⇒下記評価へ * 無し⇒終了							
	総合 評価	拡充	縮小	統合	改善・効率化	改善余地なし	その他〔 〕	終了
	予算	現状どおり	増額	減額	終了			

平成 20 年度事務事業評価表(一般用)

①事務事業名		担当 部課	部課コード	030901	TEL	2926-8669		
事業コード	ひばり児童館放課後児童健全育成事業(生活クラブ)							
030901								
開始年度		昭和	60	年度	—	終了年度	平成	年度

②事業の概要	事業の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 法定受託+附加			根拠法令			
	分野別計画・指針	所沢市児童育環境整備計画(所沢エンゼルプラン)・所沢市次世代育成支援行動計画			児童福祉法・所沢市立児童館設置及び管理条例・同施行規則			
	関連・類似事業	放課後児童健全育成事業(児童クラブ)						
	総合計画の体系	政策	第3章 豊かな心で健やかに暮らせる支え合いのまち	施策	2節 児童福祉	中柱	1 子どもたちの健全育成	小柱

③事業の内容	・H19市民意識調査における施策の順位…43施策中 9 位		・実施計画における位置づけ…		H19	<input type="radio"/>	H20	<input type="radio"/>
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ							
	事業開始の背景	都市化の進展や核家族化の進行、更に女性の社会進出などに伴い、留守家庭児童の健全育成に対する支援や諸問題に対処するため、昭和56年度より児童館事業の一として生活クラブ事業を開始した。ひばり児童館は、昭和60年度より当事業を開始した。						

④前年評価と改善点	目的(何のために行か、具体的に)		保護者が労働等により昼間家庭にいない児童に対し、授業の終了後や長期学校休業日等に所沢市立児童館を利用して適切な遊び及び生活の場を提供し、児童の健全育成を図ることを目的とする。					
	対象(誰を、何を対象としているのか)		利用数の考え方					
	生活クラブ入会申込書提出児童数(1年生～6年生)		生活クラブ入会決定児童数					
	対象数	単位	平成 18 年度	32	利用数	単位	平成 18 年度	24
		平成 19 年度	39			平成 19 年度	24	
事業の具体的な内容及び実施方法								
1)入会希望児童の保護者より入会申込書を受け付ける。 2)入会基準に沿って審査し、入会児童を決定する。 3)定員24名、活動内容＝生活指導、昼食等、お別れ会、おやつを毎日実施、保護者会を年2回実施する。 4)入会手続き事務＝所沢市児童館生活クラブ事業運営基準によって行う。								

⑤経費	平成19年度事務事業評価結果(平成20年度の方向性)		◀ 最終評価 <input type="checkbox"/> 一次評価 <input type="checkbox"/> 二次評価 ▶				
	総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())					
	予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了					
平成19年度中に改善した点							
1)入会待機児童に対し、夏休み期間のみ一時的に入会できる制度を試行した。 2)所沢市立児童生活クラブ事業運営基準内の入会優先順位について再検討した。							

⑤経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	当初予算		4,061	4,538	4,848	
	決算(見込み含む)		3,558	3,779		
	(嘱託職員)(臨時職員)	(人)	(1.00 人)	(人)	(1.00 人)	
	正規職員人件費	2.00 人	9,200	1.80 人	0	
	公債費					
	事業費合計		12,758	3,779		
	財源内訳	一般財源		10,461	1,195	2,243
		国・県支出金		1,012	1,213	1,264
		受益者負担金		1,285	1,371	1,341
市債						
その他						
市民一人当たり(単位:円)		37.8	11.1			
利用数一単位あたり(単位:円)		531,583.3	157,458.3			

※「財源内訳」について平成20年度のみ、当初予算の内訳となっています。

⑥指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	活動実績	開館日数	年間開館日数	日	294	294	293	293
		出席者数	年間延べ人数	人	4855	5280	5860	7032
		入会者数	入会者数/定員	%	100	100	100	100
成果分析	平均出席者数	年間出席者数/開館日数	目標値	15	17	20	24	
			実績	16.5	17.9	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2		
			% 達成率	110.0	105.2			

⑦一次評価	評価項目	現状評価	評価項目	現状評価	
	対象設定	事業の対象を見直す必要性	実施主体	現在の実施主体	見直しの必要性
		<input type="checkbox"/> 対象を絞る <input type="checkbox"/> 対象を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しの必要なし		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
		類似・関連事業などとの整理・統合		受益者負担の有無	見直しの必要性
他事業との整理・統合	<input type="checkbox"/> 統合する <input type="checkbox"/> 連携する <input type="checkbox"/> 類似事業がない <input type="checkbox"/> 統合等必要なし	関係	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
明らかとなった課題	保護者の就労等の状況により、児童館生活クラブへの入会希望者が増えている。生活クラブには、保育環境を維持するため定員制を設けており、年々入会できない待機児童が生じている。				
⑧二次評価	今期目標項目(何を)	達成水準(どこまで)		時期(いつまで)	
	児童の健全育成	適切な遊び及び生活の場を提供する		年度末	
	平成20年度における目標設定				
	平成21年度における事業の方向性				
総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の継続 ⇒ (<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 改善余地なし <input type="checkbox"/> その他 ())				
予算	<input checked="" type="checkbox"/> 現状どおり <input type="checkbox"/> 増額 <input type="checkbox"/> 減額 <input type="checkbox"/> 終了				
評価理由	保護者が、就労等により家庭にいない児童に適切な遊びと生活の場を提供して、児童の健全育成をさらに推進していく。				
評価日	記入者職氏名				

⑧二次評価	事前評価	部内優先順位… 18 位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度評価	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input checked="" type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	市長マニフェスト	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
評価理由	「児童クラブ」に比較し直當での事業となるが、放課後子ども支援の基幹的な事業でもあり、臨職による体制を維持しつつ活動を継続していくために「引き続き実施」と評価した。							
評価日	9月1日							

⑨個別計画における方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ… 無し	計画コード	
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ… 有り	計画コード	2221
	基本目標	2子どもたちが心豊かに育つためのゆとりある暮らしを支えます		
	主要課題	2仕事と子育ての両立の推進		
施策の方向	2放課後の子どもたちに対応した支援の充実			